

枚方市と枚方市職員関係労働組合の団体交渉の要旨

1. 日 時 令和7年(2025年)6月12日(木) 午後6時30分～午後7時30分
2. 場 所 枚方市職員会館 大会議室
3. 出席者 組合側：執行委員長以下約20名
市 側：総務部長、総務部次長、人事課長、職員課長、教育政策課長、上下水道総務課長、市立ひらかた病院総務課長、書記（人事課・職員課 課長代理）
4. 課 題 「2025年職員採用・人事制度に関わる要求書」及び「ジェンダー平等に関する要求書」に基づく交渉（1回目）

<交渉内容要旨>

I. 技能労務職員について

組 合	市
・ 技能労務職員、特に作業員の採用については、年齢構成や技術・経験の継承の観点から、若年層の採用が必要と考えるが、現時点での検討状況を聞く。	・ 年齢構成や技術・経験の継承の観点は考慮すべきと考えるが、現在、各現業職場の状況等を確認しながら、精査を進めている。

II. 障害者雇用について

組 合	市
・ 障害者雇用率の状況はどうなっているのか。また、障害者雇用に関して変更された部分はあるのか。	・ 昨年度は本市独自の目標数値である3.0%を達成した。今年度からはさらに高い水準を目指し、目標値を3.4%に引き上げた。

III. 学校司書の配置について

組 合	市
・ 中学校図書館に配置していた学校司書をすべて小学校中心の配置としたことで、中学校図書館においてこれまで積み上げてきた取組が失われてしまった。中学生からも専任配置を求める声が上がっており、兼務ではなく、全小中学校への1校1人配置を早急に進めてほしい。	・ 中学校図書館配置の学校司書を小学校配置とした件について、事前の情報共有が十分できておらず申し訳なかった。いただいたご意見は関係部署と共有し、状況の把握や対応の検討に努める。

IV. 再任用職員の処遇について

組 合	市
再任用職員の処遇について、他の任用形態と比較して、水準があまりにも低すぎる。定年延長制度完成までの経過的な制度とはいえ、このまま放っておくべきではなく、対応を求める。	再任用職員の処遇については、他の任用形態と比較して取り残されている感があり、引き続き、国へ処遇改善を働きかけていく。

V. 職場環境の改善について

組 合	市
一部の部署で、執務スペースが狭く、業務に支障があるとの声が出ているため、対応を求める。	まずは、狭隘となっている執務環境の実態を把握し、改善が可能かどうかも含めて検討を進める。

VI. 係制について

組 合	市
係制の導入から1年が経ったが、現時点でどう総括しているのか。また、係を統括する係長・監督の処遇についてはどう考えているのか。	現時点で必要な係数は整理できたものと考えており、係長をはじめ、各職制に対する職員の理解が進むよう、引き続き取り組んでいく。係長等の処遇については、現在検討中である。

VII. その他の諸制度について

組 合	市
- 育児、介護、病気などにより一時的に離職した職員が、復帰できる制度の創設を求める。 - 保育士の離職防止の観点から、保育士が勤務する保育所に当該保育士の子を優先的に預けられるようにしてほしい。 - 育児休業を取得した職員に代わって業務を担った職員に対して、勤勉手当を加算してほしい。	- 同様の制度を導入している他団体の情報収集も行いながら調査・研究していく。 - 保育所入所を待たれている市民との公平性の観点から困難である。 - 総合評価の結果を反映するという勤勉手当の趣旨からは困難である。また、公平性の観点から、加算対象者の選定範囲についても課題が大きい。